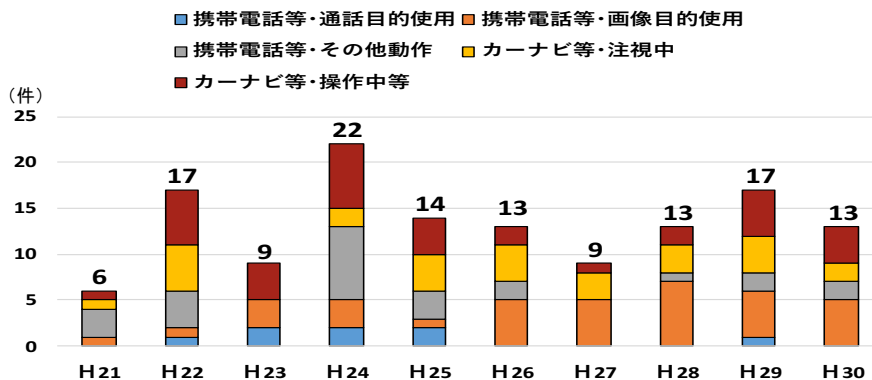


■ 鳥取県における携帯電話使用等・カーナビ装置注視等の「ながら運転」が原因となる人身交通事故件数の推移（平成21年～30年）



		H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	合計
携帯電話等	通話目的使用	0	1	2	2	2	0	0	0	1	0	8
	画像目的使用	1	1	3	3	1	5	5	7	5	5	36
	その他動作	3	4	0	8	3	2	0	1	2	2	25
カーナビ等	注視中	1	5	0	2	4	4	3	3	4	2	28
	操作中等	1	6	4	7	4	2	1	2	5	4	36
合計		6	17	9	22	14	13	9	13	17	13	133

※ 携帯電話等・通話目的使用：携帯電話等で通話中
 携帯電話等・画像目的使用：携帯電話等の画面を注視・操作中
 携帯電話等・その他動作：携帯電話等に係る上記以外の動作
 カーナビ等・注視中：カーナビ装置、カーテレビ等の画像表示用装置を注視中
 カーナビ等・操作中等：画像表示用装置を操作していた場合等、カーナビ等に係る上記以外の動作

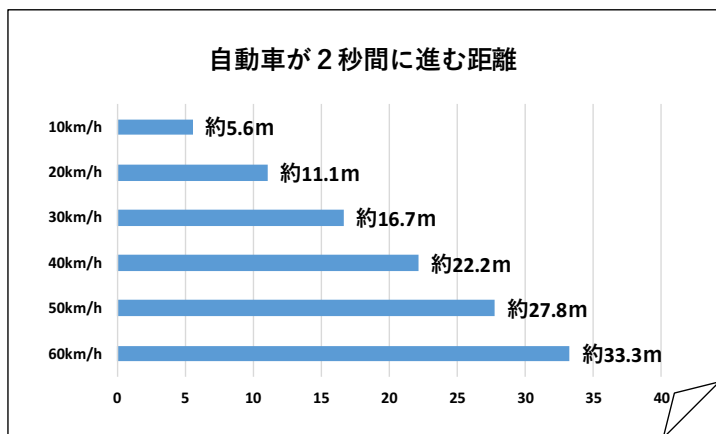
- 過去10年間（平成21年～30年）で、携帯電話使用等・カーナビ装置注視等が原因となる人身交通事故が133件発生。うち死亡事故は3件発生。
- 携帯電話使用等では「画像目的使用」による事故件数が36件（携帯電話等の69件の52%）、また、カーナビ装置注視等では「操作中等」による事故件数が36件（カーナビ等の64件の56%）を占める。

携帯電話等の画像を注視すること等によって車の進行方向から目が離れてしまう状況のときに事故が多く発生していることが分かるね。

運転者が画像を見ることによって危険を感じる時間は、運転環境によって異なるんだけど、各種の研究報告によれば、2秒以上見ると運転者が危険を感じるという点で一致しているんだって。

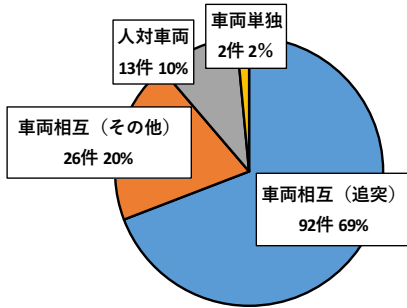
ちなみに、自動車が2秒間に進む距離は右のグラフのとおりだよ。60km/hの場合、2秒間で約33.3m進むのか!! たとえ数秒間であっても、その間に歩行者が道路を横断したり、前を走行している車が減速や停止したら…。画像を注視等しながら運転するのは事故につながるおそれの高い危険な行為だね。

それと「通話」も、会話に意識が集中することによって運転行為に集中できなくなるから、同じように危険な行為だね。



■ 携帯電話使用等・カーナビ装置注視等の「ながら運転」が原因となる人身交通事故の特徴

【事故類型別】



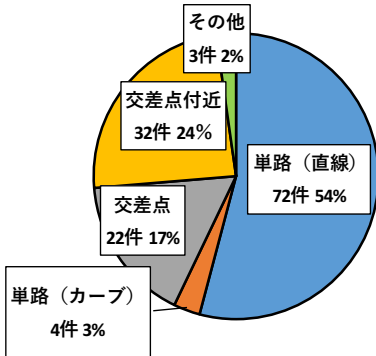
○ 追突事故が92件（69%）を占める。

追突事故が大半を占めるのね。「前の車も同じくらいの速度で走行しているし、車間距離もとっているから大丈夫」って思ってしまうのかしら？

事故を起こさないためには、当たり前なことだけど、前をよく見て運転しないとイケないわね。



【道路形状別】



○ 単路の直線部分が72件（54%）を占める。

直線部分での事故が多いね。ハンドル操作が少ない分、「今なら大丈夫」って思ってしまうのかな？

やっぱり大事なことは、前をよく見て確実な安全確認をした上で、確実なハンド操作やブレーキ操作等による安全運転を実践することだね。



自転車の「ながら運転」も危険！

スマホの画面を注視・操作等しながら自転車を運転することも事故につながるおそれの高い危険な行為です。全国的には自転車スマホの「ながら運転」によって、歩行者をはねて死亡させる等の重大事故が発生しています。自転車も「車両」であり、「加害者」になり得ます。自転車スマホの「ながら運転」も絶対にやめましょう！特に、子どもにスマホを持たせている保護者の方は、子どもに対する呼びかけをお願いします。

